

チームでサバイバルキャンプ



◆事業目的

- ①自分や仲間の長所を活かし、チームで3日間を過ごすことにチャレンジする。
- ②ピバークを通して冬の自然を肌で感じ、日常生活との違いを感じ、学ぶ。

◆参加者数：34名

◆「今、ここ、を楽しもう」と伝えてスタートした今回のキャンプ。1日目は、室内でのレクリエーションと『釘ナイフ作り』で班の仲を深める時間としました。集中力の高いメンバーが多く、3時間ほどの工程をやり抜き、とっておきの一品ができました。2日目は、「アウトドアクッキング」と「グループピバーク」。クッキングでは、役割分担をして班ごとに取り組み、班の連携が高まりました。強い雨の降り続く中でしたが、「靴がびしょびしょ」と言いながらも笑顔で過ごす子どもたちの姿は、まさしくサバイバルキャンプの名にふさわしく頼もしいものでした。夜は、雨天のため野外炊事場でのグループピバーク。日中に習得したロープワークを活かして炊事場に屋根や壁を作り、夜を明かしました。最終日の屋台村クッキングでは、3日間の集大成が発揮され、どこの班も大満足の仕上がりとなりました。雨に濡れ、煤に汚れ、チャレンジフルなキャンプでしたが、良く食べ、良く笑い、34人の子どもと10人の大人で共に楽しんだ3日間でした。また、次のキャンプで再会しましょう！（文責：小島）

担当スタッフ：こと、ともちゃん、ぐっぴ、てるまえ、なみなみ、ぽこ、ばんび、とうちゃん、みよっしー、ぴけ